

<議事概要>

1. 開会

司会の都市計画課・大西主事に続き、都市計画課・安福課長が開会のあいさつを行った。
(安福課長のあいさつ内容は、以下に示す)

2. 議事

第4回策定検討委員会の開催結果等について、議事の概要を以下に示す。

発言者	議事概要
安福課長	<p>開会あいさつ</p> <p>都市計画課の安福でございます。</p> <p>本日は令和4年度第1回都市計画マスタープラン策定検討委員会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>昨年は3回、策定委員会を開催してきて、これまでにいただいたご意見も含めまして、全体構想、部門別方針の見直しを行ってきました。今回の策定委員会では、現在取りまとめている所までを冊子というふうにしまして、たたき台を作成しておりますので、その内容についてご説明させていただきます。</p> <p>昨年度の最後の方は、住宅マスタープランの話ばかりになってしまっていますので、今日は振り返りと言いますか、それも含めてお話させていただこうかと思っております。</p> <p>委員の皆さまにおかれましては、様々な視点からの幅広く、忌憚ないご意見をいただければと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>(委員紹介)</p> <p>(資料確認)</p>
司会進行	それでは、早速ですが議事に移りますので、以降の進行を田原会長にお願いいたします。
田原会長	<p>(1) 加西市都市計画マスタープランの全体構想 部門別整備方針 についての質疑応答</p> <p>(会長挨拶)</p> <ul style="list-style-type: none">・皆様、おはようございます。朝早くから、特にお暑い中、しかも新型コロナウイルスの第7波の感染がピークぐらいになるのか、そういう大変な時期にお集まりいただき、誠にありがとうございます。・先ほど、課長からのご挨拶の中でご紹介がありましたが、この都市計画マスタープランは2年間で策定することになっており、初年度は住宅マスタープランがあり、特に後半はそちらに重点を置かざるを得なかったということで、久方ぶりのと言うとおかしいが、都市計画マスター

	<p>プランの審議になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 今年の後半にかけて、加速して行くというスケジュールだと思います。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。 • 本日の会議は、只今 10 時過ぎということで、遅くとも 12 時までには終わりたいと思いますので、スムーズな議事運営にご協力いただきますよう、お願ひいたします。 <p>(以下、議事に入る)</p>
田原会長	<ul style="list-style-type: none"> • 早速、議事に入る。議題は 1 つだけで、加西市都市計画マスタープランの全体構想の部門別整備方針について、まずは事務局から説明を聞いていただく。 • 今までの経緯を取りまとめてもらったので、頭を整理する所から始めたい。 <p>(事務局の経緯説明)</p>
田原会長	<ul style="list-style-type: none"> • 只今の説明で、今、我々がどこに居るかをご確認いただいた。簡単になぞると、加西市都市計画マスタープランのたたき台の中で、序章から始まり、1 章は加西市の特徴、2 章は時代の潮流、3 章はまちづくりの主要課題。言ってみればこれは前段に当たる。 • これを受けて全体構想、つまり、構想の本体部分がある。その部分の「4-1. 目指すべきまちの将来像」までを、今まで議論してきた。今日は、いわゆる各論の最初の部分「4-2. 部門別整備方針」という所の議論に取りかかる。もちろん、関連する所は前に戻っていただいても構わないので、その各論の部分をきちっと詰めて議論出来たらと思う。よろしくお願ひしたい。 • スケジュール等について、ご質問ご意見がなければ本体である「4-2. 部門別整備方針」に入る。説明をお願ひしたい。 <p>(事務局の資料説明)</p>
田原会長	<ul style="list-style-type: none"> • 只今の説明について、ご意見ご質問があればお願ひしたい。
●●委員	<ul style="list-style-type: none"> • 資料 2-1 の土地利用に関する方針、市街地ゾーンの住宅地の北条町旧市街地の部分。「賑わいとまちなか居住回帰に向けた新たなまちづくりの手法の検討」という表現の具体的なイメージや方向性があれば教えて欲しい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> • まだ具体的な所までは説明しきれない。景観の所でも触れているが、微妙な言い回しで、北条町旧市街地地区について「街道沿いについては」という言葉をわざわざ入れている。 • 景観形成地区に指定しているが、なかなか規制が厳しすぎて色んな土地

	<p>利用を図りにくいという問題がある。そういうことを、まず都市計画マスタープランで「メリハリをつけて」と書いている。規制のメリハリを変えつつ、例えば空き家が固まって出ている所や、旧市街地地区に該当するか微妙だが横尾の旧街道の裏側に農地が結構残っている所、固有名詞を出すのが藤部メリヤスの周囲に田んぼが残っていたりする。そういう所には、小さな民間再開発のような物を、ちょっとずつ起こして行きたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「空き家、空き地化の進行や残存農地により」という言葉の所で、そういったことを喚起出来るようなことを、考えて行かねばという意味合い。
<p>●●委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資料 2-1 の土地利用の所、市街化調整区域の全体的な話になるかもしれないが、この構想では、例えば食品スーパーを出店したいという時、来たい所には来るとは思うも、加西市の場合はイオンモールが特徴的な施設である。 ・イオンモールは食品売上構成が高く、おそらく利益もほとんど食品から出しているのではと個人的には思うが、もし食品スーパーが各地域に増えると、イオンモールが撤退という万一も考えられる。食品スーパーが増えた時、後戻りするの難しいと思うが、その辺の検討や情報はあつての案なのか。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・端的に言えば、食品スーパーの過剰出店の可能性があるというご心配だと思うが、考え方は 2 つあり、商業施設自体は営利でやられているので、イオンモールに勝てる所にしか出店されない。 ・イオンモールは遠方からの集客もある大事な施設で、それを潰すようなこと、健全な経済競争を阻害するようなことはしない。市街化区域で、規制的にここに出店しにくいというつもりはない。ただ、兵庫県の広域土地利用プログラムという大店立地法の絡みで、軽度に規制をかけている。加西市の場合、北条町駅の周辺から東高室にかけてのエリア、北条町駅周辺だけが床面積 20000 m²以下、その他は 6000 m²以下しか認めないとしている。これは北播磨も同じで、加東市だと社のイオンの周囲だけ 20000 m²以下しか認めない。 ・床面積の規制をかけているので、それ以上の規模の出店、イオンモールを脅かす物はありません。 ・市街化調整区域の場合は、地域の活性化という意味合いで都市計画審議会でも説明させていただいている、再出店やスーパーの誘致や拡大移転という形でやっている。これも大店立地法の関係で県が独自に条例を作っており、店舗部分で床面積が 1000 m²を超えると、条例にかかり手続きをせねばならない。1 店舗当たり 1000 m²ではなく合計でとなっているので、駐車場も配慮せねばならないので、大きな店は来にくい状況。 ・西笠原や殿原など、大店立地条例にかからない所で動いている。要は食い合いが起きないような規模になる。同じような似た地域に数店舗は、

	それは難しいと思う。危惧されているようなことは起こりにくいと考えている。
田原会長	<ul style="list-style-type: none"> 重要な論議である。土地利用に関する方針の中で、その辺り（商業施設の規制や誘致）に関連する記述は、どのあたりになるか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 商業施設の規制や誘致については、具体的な記載はしていない。例えば、資料 2-1 の P2 の左側、商業地の所、「また、大型商業施設については…都市機能・交流エリア」というのが、先ほど言った、県が決めた広域土地利用プログラムの対象ゾーンとほぼ同じ。それよりも広くは取っており東高室にもかかる。ここにも集客施設の誘致を図りたいので、そこも含めた意味合いで書いてある。これが一番近い記載と思う。
●●委員	<ul style="list-style-type: none"> 資料 2-1 のその他の所、教育・文化・行政施設でまとめられている。学校教育施設、社会教育施設に配慮いただいていると考えるが、気になることは、現在も検討中の新設中学校の構想。それは具体的に明記されているので、市街化調整区域であっても建設可能という方向性を示しているのか。これが 1 つ目の問い。 公民館は、方向性も含めた見定めが今後のことであり、ここまで触れていけば十分かと思う。 もう 1 つの問いは、中学校が統合された後の、残る 3 中学校。統合校が必ずしも新設中学と決まっていないこともある。そうなった場合、残る 3 中学校も取り壊して新たに何かを建てる、もしくは現状施設を活かして、建築物の用途変更になる。あるいは、利用者、使用者が公でなくなる。色んなケースが考えられるが、そこへの都市計画マスタープランでの表現は足りるのかを教えて欲しい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 仮に新設中学校とした場合、市街化調整区域に建設可能かどうか、私どもの権限では断言出来ないが、当然それについては前向きに進めねばという意味合いで記述をすべきであることを教育総務課に話をしたうえで、こういう内容にしている。 場所は今から議論に入と思うが、立地的には広く考えたいこともあるでしょうから、このような記述とした。 市街化調整区域では、小学校は基準があるも中学校の建築基準がなく、加東市でも滝野の中学校が市街化調整区域でのリニューアルに色々あったと話を聞いたことあるが、私どもはそれを前提として何とかやるというつもりでこれを書いている。個別の許可になるか地区計画にするかを検討することになると思うが、議論の中で、ここでやる具体的な理由や必要性があれば、個別の許可を何とかあげたい。県の建築部局とも一度協議をしたことがある。 中学校跡地については触れてはいない。教育委員会で議論がなされ、方針が出るのが 9 月。それを受けての記述の変更は当然させていただく。 跡地が出て来ることがはっきりするので、記述も跡地利用には触れるべ

	<p>きも、具体的にそれを何にどうするかまでは触れられないと思う。内容は9月を待ってからと思っている。</p>
●●委員	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校の方は、配慮いただいていると受け取れました。跡地については、今回の答申でも詳細までは触れられない可能性があるも、先ほど例示した数パターンの利用形態が予測される中で、どこまでここに書くべきか、書くことが出来るのかを含めて、また相談に乗っていただければ助かる。
田原会長	<ul style="list-style-type: none"> ・特に2点目、ご要望があったことを踏まえて、記述に影響を与える課題であることを覚えておく必要がある。学校の跡地利用の課題が存在すること、その方向性をどこまで書くか。
●●委員	<ul style="list-style-type: none"> ・市街化調整区域の特別指定区域は、積極的に人を入れて行こうとされている。素朴な疑問で教えていただきたいが、イメージとして、加西市全体の住む地域は維持したまま人口が減少する状態になった時、上下水道の適切な整備と書いてあるが、単純に考えて整備して行けるのか疑問。 ・例えば、水道料金がすごく高くなったりするのかとも思うが、何か検討されているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・整備という言葉は入っているが、実際は農業集落排水やコミュニティプラントで、現在の人口カバー率は99%を超えている。 ・担当の上下水道課では、農業集落排水やコミュニティプラントを公共下水道に繋いで行くというような動きをしている。この10年ぐらいで、かなり進んでいる状況で、整備は新しく作るというよりも、このようなことを進めるという解釈の方が適切と思う。書き方が悪いようなら、また上下水道課と相談する。 ・料金が上がる上がらないは、何とも回答しにくい話。例えば、加西市は調整区域がかなり大きく、集落の数も多い。道路も含めてかなり広い範囲で長い将来を見ていると、均衡ある発展という言葉で触れているが、それを前提としてやって行くべきだと思う。 ・5年、10年ではない長い将来を見ると、人口推測でも3万人を切るということが出てしまっている。たぶん、自治会自体をどうするかという話が出て来る。長期計画の課題になり、ここではっきりとは言えないが、残り1軒、2軒の自治会になれば自治会として成立しない。これをどうして行くか、予測される課題として話し合いが始まっているのではと推測している。 ・ずっと機能し続けるためには、人が居る、規模がある。この数十年で、そういう可能性も出て来る。文章的にはしっかりとした書き方が出来ていないのは申し訳ない。
田原会長	<ul style="list-style-type: none"> ・このような説明でよろしいか。

●●委員	<ul style="list-style-type: none"> ・難しいと思うが、イメージ的に、維持出来なくなったらその時に終わりではなく、もう少し先を見て、どういう所を守って、どういう所はあえて無くして行くのかみたいな話は、あっても良いのかと思う。 ・逆に、無い所は無い所で、オフグリッドの住宅を誘致するなど、前向きな考えがあっても良いと思う。
田原会長	<ul style="list-style-type: none"> ・今の話は、上下水道だけでなく、市街化調整区域のまちづくりとしてということ。 ・私の方で、やや理解が付いて行ってない所があるので確認したい。市街化調整区域のまちづくりで、特別指定区域制度を活用して積極的に取り組むのは良いが、インフラ整備が基本的にそれに付いて行けるのかどうかは、確かに気になる所であり、そもそもインフラが整っていないから、市街化を抑制している現実もある。 ・その中で、特に上下水道の場合は、現状がはっきりしない一方で、市街化調整区域のまちづくりを積極的に取り組もうという話と、うまくバランスが取れているのかどうか気になる。そういう意図で良いか。 ・非常に重要な話だが、現状が分からない中でこれ以上の議論をしても仕方がない。これは検証していただき、比較的、平和にある状態を、将来のことは見越してこういうふうに行こうという感じで述べているのか、非常に危機的な状況にあって、取り組むことでこういう形になっているのかでは、相当ニュアンスとしては違う。正直、どちらか良く分からない。少しチェックいただければ良いと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・市街化調整区域の規制緩和については、開発などという言葉が誤解を招くと思う。特別指定区域という制度自体は、実はインフラが整備されている所でない、指定は出来ない。 ・整備という言葉は新たな整備という意味合いではなく、それを維持して行くという意味での整備。例えば、新しい住宅団地を作る、産業団地を整備する。あまりにもかけ離れた場所でやるのは、元々、場所の選定としてやっていない。インフラの拡張は、最低限なされていることを前提に考えている。このことだけは付け加えさせていただく。
田原会長	<ul style="list-style-type: none"> ・現実的には、そこまでクリティカルな状態にある所でやってはいないので、そこは懸念しなくても良いだろうという、事務局の考え方。 ・一方で、加西市のことではないが、特に上水道等は、人口減少に伴い、どのようにシステム全体を維持したらよいかは課題になっている自治体が多数ある。そういう問題があるのかどうかは、検証したうえで、市街化調整区域の今後のまちづくりを積極的にやっ行くうえで支障は無いという。そういうことが検証出来れば安心なので、よろしく願いたい。
●●委員	<ul style="list-style-type: none"> ・●●が答弁したら良いかと思うが、たぶんご承知の通り、加西市の財政

	<p>状況は、ふるさと納税で多少、一時的な物はあるが、根本的に厳しい。下水道の整備を一気呵成に進めたので、その借金の支払いが財政を非常に圧迫した状態が続いている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そういう意味で今後を見るうえでも、上下水道のインフラ整備、どちらかと言えば後は設備更新になるが、そこが財政に大きな影響を与えることはご承知の通りで、加西市も同様。その中で、市としては下水道の償還が間もなく終わるので、終わった後に更新のスケジュール、既におおよそのアウトラインは策定したので、今後はまず農業集落排水、コミュニティプラントの統合を終え、その後はインフラの更新に当たる計画は持っている。 ・その中で、具体のお話があった、空き家で住む可能性が無い所を更新せず、もしくはオフグリッドでというお話。そこは、町単位で特別指定区域の全面見直しをやっており、町の皆さん方と良く話し合いながら、長い間、空き家になっていて使われないエリアを、町の中で一定の中心に集約化して行き効率化する。住民の皆さんと協議をしながら進める形になると思う。 ・具体化した施策としてはまだ無いが、我々としては住民主体のまちづくりをしっかりと位置付けているので、更新等を行う時に基本的な姿勢でもって取り組んで行きたい。
田原会長	<ul style="list-style-type: none"> ・すっきりしました。
●●委員	<ul style="list-style-type: none"> ・資料3のP86、道路の整備方針、2つめの「国道372号」は良いが、「特に、」の後、「市道鶉野飛行場線及び市道上宮木玉野線については早期完成を目指す、法華口交差点などで慢性的な渋滞が発生する」とあるが、たぶんこの2路線を整備しても、法華口交差点の渋滞は関係無いと思う。 ・法華口交差点の渋滞に一番効くのは、加西バイパスの第一工区と思う。加西バイパスの第一工区の早期整備の完成にした方が良い。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘の通りに修正させていただく。
●●委員	<ul style="list-style-type: none"> ・その下の、「県道高岡北条線、市道玉丘常吉線などの未整備区間の整備」というのは、そのような計画はあるのか。市道玉丘常吉線は中川原橋の歩道橋か。県道高岡北条線はどこか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・県道高岡北条線や市道玉丘常吉線をやるという意味ではなく、地域幹線道路の代表格として名前を出しただけ。地域幹線道路の未整備区間の箇所を継続整備するという意味合い。 ・今のご指摘、読んで誤解を招いた、私たちの意図と違うように読み取られたということで、ここは書き方を変えるべきなので修正する。
田原会長	<ul style="list-style-type: none"> ・その2点、よろしくお願ひしたい。

<p>●●委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> 資料 2-1 の P3、都市交通に関する方針、1) 基本的な考え方の 3 つ目、「公共交通については、高齢化の進行や脱炭素化に対応するため」ということで、公共交通と脱炭素との関係性はどのようなものか。「環境負荷の少ない持続可能な都市づくり」が関係すると思うが、具体的に都市交通と脱炭素との関係性は、どのような物を考えておられるのか。 3) 公共交通の整備方針の 3 つ目、「新しい公共交通ネットワークの構築を推進することで、市内外への移動のしやすさの向上を図ります」という所。現在でも公共交通、例えばデマンド交通などは、ふるさと創造会議がやっているが、それですら校区を越えてなかなか出られない。ましてや市内外への交通移動が非常に難しい状況がある。そういう「市内外への移動のしやすさの向上を図ります」となっているが、非常に難解な問題だと思うも、どのようなことを考えておられるのか、あれば教えて欲しい。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> 最初の考え方の 3 点目について、高齢化の進行と脱炭素化が公共交通とどう関係があるかの話。75 歳になると免許の返納が社会問題になっており、免許を持たない高齢者の交通の問題。そもそも車を走らせることによる CO2 の排出の問題。この 2 つを問題と捉えて書いている。 公共交通の整備方針の 3 点目、市内外への移動のしやすさの話。これについては、特に MaaS という物で市内だけの話では無く、例えば大阪や神戸までも含めた情報の提供を活かして、移動の複合的な対策も含めて行く意味で市内外と書いている。
<p>●●委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> 具体的に、その市内外の移動というのは、大阪、神戸がメインというお話も、我々としてはそこまでではなく、近隣の西脇や小野などが一番身近に感じられる。隣接の身近な市も、同じような考え方か。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> MaaS というのは近隣の市町に対しても繋がる。路線バスや北条鉄道も繋がれば、市内外への移動がしやすくなると思う。そういう近隣への接続のしやすさも当然含まれている。
<p>●●委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> 今、ふるさと創造部人口増政策課で並行して、令和 5 年度に向け令和 4 年度中に地域公共交通計画を策定している。都市交通ということで全く同じ内容が被る部分もあるので、地域公共交通計画の表現等を合わせていただく方向で、していただいたら良い。人口増政策課と連絡を密にしていれば良いかと思う。 これはお願いだが、令和 2 年の国勢調査結果が出て来ている。令和 5 年 3 月の議会にかけることもあるので、本編のデータは出来るだけ最新に直していただきたい。
<p>田原会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> 2 点目は、データの更新なのでよろしくお願ひしたい。 ●●委員からのご指摘、●●委員からの改善に際しての要望について、

●●委員

MaaS等は、言ってみれば今後の技術革新による所がとても大きく、一般の方も知識の濃淡がすごくある。実際、ご指摘があったような、前からずっと課題だったことが一気に解決するのかなど、そういう疑問は当然持っている。魔法のような物では無い。その書き方は、それなりに慎重に書いていただかねばならない。

- ・方針として、こういうことに取り組むは良い。その結果、何が起こるか期待はするが幻想を与えてはいけない。特に未知のことに関する部分の書きぶりは注意いただく必要がある。
- ・高齢化の進行という話と脱炭素化の所、文脈として脱炭素化が中心に見える。高齢化の部分、当然、公共交通と高齢化の進行の話は密接に関係しているが、その後の記述が、どうも脱炭素化の話に寄っているので、ちょっと見えにくくなっている。そこは改善して欲しい。
- ・流れ的に公共交通の所から行きたいが、ちょっと細かい所を。資料 2-1 の P7、2) その他の都市施設の整備方針の③の 4 つ目。総合体育館は市長の公約でもあり、これを実施するというのでしっかり書いていただくのは私の立場からは大歓迎も、現状の市役所内の進捗状況は、まだ基本計画を策定出来るかどうかのタイミング。ここは「行います」と言うより「進めます」という程度が良いと思う。
- ・資料 3 の P99、③防災拠点の整備で市道鶉野飛行場線、(仮称)が残っている。(仮称)が残っている所と残っていない所があるので、チェックがやや甘いのではないか。やんわりと指摘しておく。
- ・大きい話、先ほど来の公共交通の話で、地域公共交通計画を策定している部署は、ご承知の通り公共交通活性化協議会になる。●●の立場で申し上げますと、MaaS も含めて公共交通の絡みは、公共交通活性化協議会の承認を得なければ何も前に進まない。そのことは重々ご承知のはずなので、前にも申し上げたが、人口増政策課と、新たな都市計画マスタープランの見直し、策定と、地域公共交通計画は相互に連携するようにして欲しいと、3月に言っている。そこがまだ緩い感じがする。
- ・例えば、地域公共交通計画で議論している中で言うと、今の所、MaaS についての言及はない。ただし、入れて行くべきだという都市計画マスタープランの考え方に基づいて、地域公共交通計画に落とし込むという協議は十分に出来ると思う。そこがなされていないことが気になるので、十分に調整していただきたい。
- ・高齢化と脱炭素化の話、市職員はもうちょっとこれを読んでどういうことを言わんとしているか読み取って欲しいと思うが、例えば高齢化の話で言うと、ラストワンマイルへの対応をどうするか。これが中に落とし込まれていないので、すんと来ないと思う。脱炭素化は逆に、グリーンスローモビリティとかの言及があるので、基本的に一定の落とし込みはされている。そこがたぶん、総論各論の所で、総論だけがあって各論が無い部分、総論各論の両方が出ている部分、この濃淡があるので認識の差に繋がっているのではないか。
- ・ただし、地域公共交通計画でも、ラストワンマイルのことは入れるかど

	<p>うか意見が分かれている状況。グリーンスローモビリティの現況は無い。あるなしはどちらでも良いが協議してもらい、地域公共交通計画の方が現実的な計画になって、そのギャップが広がるとかなりしんどい。そこは整合性を持たせるよう、しっかり協議してもらいたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通活性化協議会、次は9月なので、それまでに丁寧にして欲しい。 ・資料2-1のP2、②市街化区域調整区域の所、3.土地活用促進地区の下から3つ目、「東高室地区について、市街化区域編入を検討」と書いてある。都市計画の考え方からすると、ここを明記するのは大賛成。むしろ東南、西南辺りのことも、逆にもうちょっと考えて欲しいと思うぐらい。 ・ただし、●●の立場で言うと、一方で今、東高室地区のほ場整備をやっている。市街化区域編入という言葉をしっかり明示することと、農業振興という観点でのほ場整備が、誤解を生じない形で行けるという確認を、農林整備課や農政課と協議してくれているかどうかの確認をしたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・東高室は、東高室全体ではなく、ハローズの所とミニ工業団地のところだけ。今のご指摘から、全部が市街化区域になるように見えるので言葉の表現を改める。例えば、消防署付近の民間が開発した東高室の地域など、前置きの言葉を入れることで誤解しないようにやってみる。 ・言葉で正直、粗いところがある。この修正をして行く。 ・地域公共交通計画の話、私どもも良く分かっていることなので、人口増政策課の担当と話している。向こうもそこまではっきりまとめ切れていない所があり、あくまでこちらの案としている。 ・都市交通に関する方針も、学校の話も、土壇場でかなり変わる可能性があるのご承知おきいただきたい。他とのすり合わせで、その結果が変わる可能性がある。ここはあくまで私どもの考えと、今日の段階では取っていただきたい。 ・都市計画マスタープランは、基本的に10年後のまちづくりでやっている。10年後どうなるかの夢を語るべきだと思っているので、このようなことが書いてある。ただし、すり合わせの時は、ぎりぎりまで調整させていただくので、今日の考えと捉えていただきたい。
田原会長	<ul style="list-style-type: none"> ・まだご意見はあろうかと思うが、個人的に今日のうちに申し上げておきたいことがいくつかある。 ・まず資料1、基本的に本編のどこにもこれは入らない。あくまで作業。ただ、本当にどこにも入らなくて良いのか。こういうことをどう活かすのか検討しても良いと思う。 ・その背景にあるのは、皆さんお分かりのように、都市計画マスタープランは羅列になってしまう。ここにお集まりの方のように、特に行政委員には日常的に関心のあることが盛り込まれているので分かりやすいが、●●委員や●●委員、私のような者には、どちらかと言えば普段か

<p>田原会長</p>	<p>らあまり気にしていないと、同じような重みにしか見えない項目が並んでしまうという感じになる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やはり目玉は目玉なりに、ちゃんと市民へアピールしたい。どういうやり方があるか、資料1のような出し方もある。ぱっと見て、例えばIoTと融合させたまちづくりのような、新しいテクノロジーを今から使っていくことは関心がある。そういう物を繋ぐような工夫があれば面白い。未来先進都市も同様だと思う。これが1点。 ・もう1つ、羅列が見にくい。資料2-1のP3、公園の所の1) 基本的な考え方。「公園・緑地などは、云々」、その中に既存公園はどうするかどうかは、もう1点で出て来る。2つ目の○は字下げすれば少しは分かりやすくなる。全体の本旨とそうでない所は分ける、字下げして読みやすくするなどの工夫は可能だと思う。 ・北条鉄道の所、○を2つ使っているのを1つにまとめられないか。あるいは立て続けに並べて、1つは字下げして示せないか。やや構造化する、見やすくする工夫があれば、都市計画マスタープランのような文章が、一般市民の目から羅列的に感じるような印象は、少しは無くなるだろうというふうに期待している。工夫を考えてみたけど、結局はだめだったでも構わないので検討いただきたい。 ・別のことで気になるのは、例えば太陽光発電プラントのことがあまり出て来ない。そのような課題をどう扱うか。緑地・山林の開発、景観、ため池の場合は被害を受けた時に感電することはないか。色んなことが気になる。ソーラーパネル以外でもあると思うが、そういうことはきちりどこかに記載する方が良い。 ・防災の避難の話、今回、浸水被害を見直した時に、避難計画の存在を元に避難可能と緩和している所がある。そういう問題は、やはり特出ししておかないと非常に拙い。避難計画自体がすごく重要。 ・クリティカルな課題がいくつかあるので、私も気づいたら別途申し上げるので、その部分の記載をお願いしたい。 ・私にとって意味不明な箇所がある、これも別途申し上げる。例示として申し上げると、資料2-1、土地利用に関する所の冒頭「加西市では、若い世代から支持され魅力ある都市を目指すため、新しいまちの価値観に基づいた積極的な」という、この新しいまちの価値観というのがそもそも分からない。今までとは違うんだらうということは分かるも、そこまで具体的にきちり書く必要はないが、多少分かりにくい表現がいくつかある。そこはもうちょっと練っていただくと良い。 ・それを他の所から取って来たというのであれば、どこかで、何らかの形で、同じ項目で無くても良いので敷衍していただきたい。 ・ぱっと見た印象だが、別途メモにしてお示しするので、よろしく願いしたい。 <p>・おおむね12時になった。(1) 部門別整備方針については、ここまでとさせていただく。</p>
	<p>(2) その他について (連絡事項など)</p>

田原会長	<ul style="list-style-type: none"> ・(2) その他について、事務局から何かあるか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・特にありません。
田原会長	<ul style="list-style-type: none"> ・まだご意見はあろうかと思うが、時間なので本日の議事はここまでとする。円滑な進行にご協力いただき、誠にありがとうございます。事務局に進行をお返しする。
司会進行	<ul style="list-style-type: none"> ・長時間にわたりご議論をいただきまして、誠にありがとうございました。本日いただいたご意見につきましては、今後の策定作業の中で反映させていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。 ・策定委員会については、今年度、残り3回を予定しており、次回の策定委員会については10月頃になるかと思っております。具体的な日程等については、また改めて調整させていただきますので、よろしくお願ひいたします。 ・次回については、申し上げたように地域別構想の案が取りまとめ出来ていると思っておりますので、またそちらのご審議をよろしくお願ひいたします。 ・これをもちまして、令和4年度第1回加西市都市計画マスタープラン策定検討委員会を閉会いたします。本日はありがとうございました。

以上